

二三四四番

梅うめの花はな それとも見みえず 降ふる雪ゆきの いちしろけ  
むな 間まつか使やひ遣やらば

二三四五番

天あま霧ぎりらひ 降ふり来くる雪ゆきの 消けなめども 君きみに逢あは  
むと 流ながらへ渡わたる

二三四六番

うかねらふ 跡とみやまゆき見山雪ゆきの いちしろく 恋こひば妹いも  
が名な 人ひと知しらむかも

二三四七番

海あま人小舟ね 泊はつせ瀬やまの山やまに 降ふる雪ゆきの 日けなが長ながく恋こひし  
君きみが音おとそする